

## 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語第5学年及び第6学年、「B書くこと」の言語活動例「イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること」を通して、指導事項「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」及び「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」を指導するものである。

本単元では、資料を生かして呼びかける文章を書くことで、自分の考えを効果的に伝えるために、文章構成がもたらす効果を考え文章を書く力や、写真やグラフ、表などを用いて自分の考えと関連付けて文章を書く力を身に付けさせることをねらいとしている。課題を解決するために呼びかける文章には説得力をもたせる必要がある。ここでは、どのような資料を用いて、どのような構成で書くことよいかを考えて文章を書くことに重点を置く。これは、児童が児童会活動や中学校生活等において、伝えたいことを効果的に伝えようとするときに役立つものであり、これからの実生活で生きて働く力により密接に結びつくものになると考える。

- 本学級の児童は、第5学年での「資料を生かして考えたことを書こう」で、複数の資料から情報を読み取り、得た情報を活用して自分の考えを書く学習を行っている。この学習を通して、児童は資料を活用することで自分の伝えたいことが伝わりやすくなることは理解している。しかし、明確な目的のもとで資料を収集することや、それを分析して自分の考えを導き出したり論拠として考えを述べたりする経験は少なく、課題が残っている。

1学期当初、書くことに苦手意識をもち、書く課題において非常に時間がかかる児童がいた。そこで、書く活動の場では、取材メモや構成メモを書く段階から、友達とよさや改善点を伝え合い、学び合う場を意識して設定することで、書くことへの抵抗が少しずつ改善されており、現在、書く活動を好む児童が75%である。一方、好まない児童は、「どう書いたらよいか分からないから」「書いていると何が言いたいのか分からなくなるから」と理由を挙げている。

6年生として、縦割り活動や委員会、ペア学年掃除など、学校のリーダーとしての自覚をもって活動する場面が多々見られる。学校をよくしていきたいという意識が、主体的に書く活動へとつながっていくと考えられる。

- 課題の設定の段階では、第1時で本校児童の体力の現状が分かるような、全学年分の前年度と今年度の体力テストの結果を比較した表や体力テストの正しい方法を示した写真や図、体力を上げるために効果的な運動方法を示した図などの資料を提示することで、現状の問題を見出し、解決に向けて自分たちにできることを考えさせたい。今年度の体力テストは、前年度の県・全国平均を下回っている項目が多い。最高学年として、学校をよりよくしたいという児童の気持ちを高めることで、学習活動

そのものに意欲をもち、主体的に課題を発見・解決するために学習に取り組ませたい。

情報の収集の段階では、教科書の資料を用いて読み取り方をつかんだ後、本校の資料から分かること、呼びかける必要があることを考えさせる。その際、何年生に向けて文章を書くのかを決めておき、相手意識・目的意識を明確にさせることで資料を読み取るための視点をはっきりさせたい。読み取ったことは付箋に書き出し、整理・分析の段階で自分の文章の構成や用いる資料を決めるときに活用させたい。まとめ・創造・表現の段階では自分の考えと用いた資料の関連が図られているかという視点で自分で推敲したり相互評価・修正したりしながら書かせ、課題を解決するために効果的な文章を書くことへの理解を確かなものにした。

以上のような過程で学ばせることで、資料を選択したり分析したりしながら文章全体の構成の効果を考えて文章を書く力を高めたい。

また、課題の設定の段階において、学習計画を立てるとともに単元のゴール時にどんな力を付けたかについて、児童と共に評価指標を作成することで学習の見通しをもたせておく。振り返り際にはその評価指標に照らし合わせて自分の学びを振り返らせることで、自分が学習を通して付けた力を実感させると同時に、国語以外のどんな場で付けた力が使えそうかについても考えさせたい。本単元で付けた力を委員会活動や他教科で生かしたいと思えるような振り返りをさせることで、自己の学びについて自覚的な児童を育てたい。今後、校内で体力テストの再測定を行うが、単元の振り返り時には間に合わない。しかし、その結果についても児童には知らせて自分の考えを呼びかけることへの有用感を味わわせ、本単元で学んだ力を今後も活用したいと思える土壌を育てていきたい。

## 単元の目標

- 自分たちの学校の体力についての課題を解決したいという願いをもち、読み手に伝わるように根拠となる事実や具体的な事例と自分の考えを関連付けながら文章を書こうとすることができる。  
【関心・意欲・態度】
- 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。  
【書くこと イ】
- 自分の考えの根拠や具体例となる資料を用いて、自分の考えが効果的に伝わるように文章に書くことができる。  
【書くこと エ】
- 文にはいろいろな構成があることを理解し、文章において適切に使い分けることができる。  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (キ)】

## 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 写真やグラフなどの資料を用いて体力を高めることを呼びかける文章を書く。		
体力についての課題を解決したいという願いをもち、それが伝わるように事実や考えたことなどを関係付けながら、呼びかける文章を効果的に書き表そうとしている。	現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成を考えて、集めた材料を構成している。(イ) 自分の考えの根拠や具体例となる図表やグラフを用いて、自分の考えが説得力をもって伝わるように文章に書いている。(エ)	文の構成には、平叙文、呼びかけ・疑問・応答を表す文、推定や伝聞を表す文などがあることを理解し、文章において適切に使い分けている。

## 単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・自分たちの学校生活をより良くしたいという願いをもって積極的に取材をし、読み手に伝わるように多様な根拠となる事実や具体的な事例を用いながら呼びかける文章を書こうとしている。	・自分たちの学校の児童の体力を向上させたいという願いをもち、読み手に伝わるように根拠となる事実や具体的な事例を用いながら呼びかける文章を書こうとしている。
【思考力】	・複数の取材内容を比較して最も書きたい事柄を選び、書きたい事柄と目的や相手に応じた文章の種類を関連付け、選んだ理由を明確にしなが ら妥当性のある題材を選んでいる。 ・自分や友達が書いた文章が、伝えたいことを効果的に伝えられているかを評価し、推敲したり具体的にアドバイスをしたりしている。	・書きたい事柄と目的や相手に応じた文章の種類を関連付けて選んでいる。 ・自分や友達が書いた文章が、伝えたいことを効果的に伝えられているかを評価している。
【自己理解】	・自分の考えを効果的に伝えることで問題を改善できることに気づき、具体的に今後の生活のどんな場面に生かしたいかを考えている。	・自分の考えを効果的に伝えることで問題を改善できることに気づき、今後の生活に生かそうとしている。

## 指導と評価の計画

全7時間

次	時	学習内容	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	<b>課題の設定(1)</b> ○今年度の体力テストの現状を知り、課題意識をもつ。 ・多くの項目で全国や県の平均を下回っていること、昨年度の自分たちより下回っている項目があるという現状を知る。 ・この課題を解決するために、資料を生かして呼びかけるという学習の見通しをもつ。 ○単元の学習計画を立てる。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	○			・資料を生かして呼びかけるという学習に関心をもち、体力についての課題を解決する文章を書くためにはどのような学習をしたらよいか考えようとしている。	行動観察 ノート

次	時	学習内容	評 価				
			関	書	言	評 価 規 準	評 価 方 法
二	2	<b>情報の収集・整理分析（１）</b> ○意見や考えを伝えるときの、資料の効果的な活用について考える。 ・写真、図、グラフ（p90・91）から分かることを話し合う。 ・p94の他の資料を見て、気付いたことを話し合う。 ・自分の考えを伝えるために、前時に用いた体力テストに関する資料から考えられることを付箋に書き出す。		○		・自分の考えが説得力をもって伝わるように自分の考えの根拠や具体例となる図表やグラフを選んでい る。	ノート 行動観察
	3	<b>整理・分析（１）</b> ○資料を用いて呼びかける文章を書くための資料や文章構成を決める。 ・教科書のモデル文の構成の特徴を考える。 ・自分が書く文章の構成を決める。 【本時】		○		・現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成や、図表・グラフの効果に気づき、自分の文章の構成を決めている。	ノート 行動観察
	4 5	<b>まとめ・創造・表現（３）</b> ○呼びかける文章を書く。 ・呼びかけたい内容が効果的に伝わるように文章を書く。		○		・自分の考えの根拠や具体例となる図表やグラフを用いて、自分の考えが説得力をもって伝わるように文章に書いている。	ノート 行動観察
	6	○文章の修正をする。 ・書いた文章を読み返し、より効果的に考えが伝わるように修正する。		○		・文の構成には、平叙文、呼びかけ・疑問・応答を表す文、推定や伝聞を表す文などがあることを理解し、文章において適切に使い分けている。	ノート 行動観察
		（時間外） ・書いた文章を、校内に配布し読んでもらう。					
三	7	<b>振り返り（１）</b> <b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。		○		・自分のものの見方や考え方の変容、自らの学びや学び方を振り返っている。	ノート 行動観察

スポーツ・体力に関する本や資料の並行読書



## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 呼びかけたいことを効果的に伝える文章構成に気付き、自分の文章構成に生かすことができる。

### (2) 本時の評価規準

- 現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成や、図表・グラフの効果に気付き、自分の文章の構成を決めている。

【書く能力 イ】

### (3) 本時の学習展開（3時間目／全7時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。  めあて _____ 呼びかける文章の特徴を見つけ、自分の文章の構成を決めよう。	◇前時までに資料から考えたことをメモし、どの資料を使いたいか考えたことを想起する。	
<b>本時のゴールの見通し</b> A：自分の意見が効果的に伝わるものになっているという理由を明らかにして、構成を考えている。 B：教材文で学習した、自分の意見が効果的に伝わるための工夫を生かして構成を考えている。		
2 教科書 92・93 ページのモデル文から、文章構成の特徴を考える。  ○自分の意見が効果的に伝わるための工夫を見付けましょう。 <b>資料</b> ・写真を使うと、2段落めのホッキョクグマの様子が分かりやすいから。 ・文章だけでは地球温暖化が起こる原因が分かりにくいけど、図を使うと読む人に分かりやすくなるから。 ・グラフで温室効果ガスの割合を知らせることで、二酸化炭素を減らしたら解決できることが伝わるから。 ・この3つの資料を使うことで、木本さんが言いたいことに説得力が出るから。 <b>構成</b> ・「始め・中・終わり」の構成で書いている。 <b>文末</b> ・文末は、丁寧な言葉で統一している。 ・問いかけや呼びかけをしている。 <b>全体</b> ・自分の考えをはじめと終わりの2回書いている。	◇モデル文を黒板に貼るとともにモデル文を印刷したものを児童に配布し、板書と対応させながら気付きを書き込みながら考えられるようにする。  ◇資料を抜いて文章だけにしたモデル文と比較させ、資料を用いて説明することの効果を考えさせる。  ◇児童の意見をモデル文に書き入れながら、資料と文章のつながりや、それぞれの段落で説明されていることをまとめる。  ◇資料を用いるだけでなく、双括型にすることの効果についても考えさせる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>◎評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p>
<p>3 自分が書こうとする文章の構成を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 <b>関連付ける</b></p> <p>自分の考えを効果的に伝えるために、意見と資料を関連づけながら文章構成を考える。</p> </div> <p>○木本さんの文章の特徴を使って、自分の文章の構成を考えましょう。</p> <p>○同じ学年に呼びかけるグループで、どのように構成を考えたら交流しましょう。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>★めざす児童の姿 (まとめ例)</p> <p>呼びかける文章は、最初と最後に自分の考えを書くと説得力が増します。そして、写真やグラフを使うと、文章だけでは伝わらないことが伝わります。</p> <p>だから、わたしは、体力づくりのやり方の図を使って、家で体力づくりをすることを呼びかけます。理由は、正しいやり方がわからないから家で体力づくりをしなかったり、やっても体力が上がっていかなかったりするのだと思うからです。</p> </div>	<p>◇モデル文の下段に前時に書いた付箋を貼り、①考え②現在の問題③問題が起こる原因④解決策⑤展望と考えという構成で自分が書こうとする文章のあらましを考えられるようにする。</p> <p>◆自力で考えることが難しい児童には、個別に前時までに考えたことと対応させながら構成を決められるように促す。</p> <p>◇呼びかける対象が同じ学年の児童同士でお互いの文章構成を比較することで、よりよい文章構成や、呼びかけることと資料の関連付け方に気付きやすくする。</p>	<p>◎ 現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成や、図表・グラフの効果に気付き、自分の文章の構成を決めている。</p> <p>[書く能力 イ・エ]</p> <p>(ノート・行動観察)</p>
<p>5 次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇次時には文章を書くことを確認する。</p>	

(4) 板書計画

㊦ 呼びかける文章は、最初と最後に自分の考えを書くと言得力が増します。そして、写真やグラフを使うと、文章だけでは伝わらないことが伝わります。だから、わたしは、……の資料を使って……を呼びかけます。

双括型

考え	今後	解決方法	問題の原因	今の問題	考え
(文章を拡大したもの)					
		グラフ		図	写真
呼びかけ		数値や割合		は文章だけではわからないこと	様子や状況

㊧ 呼びかける文章の特徴を見つけ、自分の文章の構成を決めよう。

9/27 南小体力アップ大作戦 資料を生かして呼びかけよう

<参考> 学びのモニタリング

学びのモニタリング

南小体力アップ大作戦！「資料を生かして呼びかけよう」

六年 組 番 ( )

自分から取り組む力

理由

・この学習を通して、自分が成長したことや、これからも使いたいと思った手びがや方法を……

理由

・この学習を通して、友達から学んだことを書こう。

深く考える力

・自分の意見が効果的に伝わるよう、構成や資料などを考え、分かりやすく伝えることができた。

とてもよくできた      よくできた      あまりできなかった      できなかった

理由

・情報を集めたり、集めた情報を整理したりして、自分の意見が効果的に伝わるようにした。

とてもよくできた      よくできた      あまりできなかった      できなかった